

記入例（納税義務者と届出者が違う場合）

廃 車

軽自動車税(種別割)廃車申告書兼標識返納書

(原動機付自転車・小型特殊自動車)

令和 00 年 00 月 00 日

開成町長 殿

つぎのとおり申告及び標識の返納をします。

申告の理由	種 別	
廃 車	原動機付自転車	小型特殊自動車
☒ 廃棄	☒ 第一種 一般原付 (排気量0.05L又は定格出力0.6kw以下)	☐ 農耕作業用
☐ 譲渡	☐ 第一種 一般原付 (総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kw以下)	☐ その他
☐ 転出	☐ 第一種 特定原付 (0.6kw以下)	
☐ 盗難・紛失	☐ 第二種 乙 (総排気量0.09L又は定格出力0.8kw以下)	
☐ その他	☐ 第二種 甲 (総排気量0.125L又は定格出力1.0kw以下)	
()	☐ ミニカー	

標識番号	開成町	あ	●	■	▲
廃車年月日	令和	年	月	日	

納税（申告・報告）義務者	所有者	住 所 又は 所在地	〒 258 - 0026 開成町延沢773番地			主たる定置場	①. 左記所有者の住所又は所在地と同じ 2.			
		(フリガナ)	カイセイ タロウ				車 名	型式又は年式	原動機の型式	
		氏 名 又は 名 称	開成 太郎			ホンダ	型 年式			
		生年月日	明・大・昭 平・令	00 年 00 月 00 日	電 話 番 号	0465 (84) 0313	車 台 番 号	型式認定番号	総排気量又は定格出力	
	使用者	住 所 又は 所在地	〒 - 特定小型原動機付自転車の場合は、 こちらもご記入ください。			長 さ	幅	最高速度	最高出力	
		(フリガナ)				cm	cm	km/h	kw	
		氏 名 又は 名 称	所有者に同じ			標識等返納の有無	標識返納がない場合の理由			
		生年月日	明・大・昭 平・令	年 月 日	電 話 番 号	()	標 識	交付証明書	☐ 盗難 ☐ 紛失 ☐ 破損	
			所有者に同じ			☒ 有 ☐ 無	☒ 有 ☐ 無	☐ その他（具体的に:)		
		生年月日	明・大・昭 平・令	年 月 日	電 話 番 号	()	記 盗 入 難 し 又 て は く 紛 失 の 場 合 は	発生場所とその状況を具体的に記入してください。		
届出者	住 所 又は 所在地	〒 000 - 0000 00県00市000 1丁目2番地			警察への届出状況					
	(フリガナ)	マルマルマルハンバイテン ハンバイ イチロウ			届出年月日	令和 年 月 日	被害又は発生年月日	令和 年 月 日		
	氏 名 又は 名 称	0000販売店 販売 一郎			届出警察署	警察署 交番・駐在所				
	生年月日	明・大・昭 平・令	00 年 00 月 00 日	電 話 番 号	0000 (00) 000000	受理番号				
【納税義務者と届出者が異なる場合、次を確認し、□(チェック欄)にレを記入してください】										
☒ 私、届出者は、納税義務者の承諾を得て、原動機付自転車等の手続きを行っています。 (なお、納税義務者の承諾を得ていない場合、地方税法や刑法等の罪に該当する可能性があります。)										
・ 太枠内の項目にご記入ください。 ・ 届出者が法人の場合は、窓口に来られる方の氏名をご記入ください。										
受 付 印					【届出者本人確認書類】 ☐ 運転免許証 ☐ 個人番号カード ☐ 健康保険証 ☐ 従業員証 ☐ その他()	入 力	確 認	交 付	【納税義務者番号】	

第六十四号様式の二

(第十六条関係)

第64号様式の2記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□(チェック欄)にレを記入すること。
なお、「種別」の欄については、該当箇所の□(チェック欄)のいずれか1つのみにレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税(申告)義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 5 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 6 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については、2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 7 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
- 8 「最高出力」の欄は、総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kw以下の一般原付の申告時のみ記入すること。
- 9 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。なお、標識の辺納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を()内に記入すること。
- 10 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。

備考欄